

「こんにちは！知事です（松山地方局）」

日 時 平成16年11月13日（土）15:00～17:00

場 所 東温市中央公民館（東温市）

知事との意見交換にご参加いただいた方々

	市町村	氏 名		市町村	氏 名
1	東温市	菅野 幸子	10	砥部町	大西 康英
2	"	近藤ヒサミ	11	"	大野 文一
3	"	白戸真由美	12	"	佐野 淳子
4	"	杉原 孝	13	"	白形 牧子
5	"	束村 賢三	14	"	武知 美穂
6	"	土井 敬子	15	"	長戸 純子
7	"	西田 芳子	16	"	和田 栄治
8	"	和田 英記	17	広田村	池田サヨ子
9	"	和田 基一	18	"	久保野伸一

意見交換の概要

委員会審議会の担当職員の異動

えひめの女性海外派遣に参加したのをきっかけに、持続可能な循環型社会と男女共同参画社会の構築に向けて活動している。公募で「えひめ循環型社会推進会議」の委員に就任した。委員の任期中に委員会の担当職員が交代し、県の目指す循環型社会が見えてこないのも、消化不良で終わった。任期中は、担当職員を交代しないほうがいいと思う。

(知事)

人事異動では、そういったことが往々にしてある。異動を延ばすかどうかの判断は、人事課と担当部との判断であるが、気をつけたい。委員会は人間関係が大事である。今後の人事にあたっての貴重な意見として参考にする。

全国大会開催時の県民文化会館駐車場使用料の減免

「日本女性会議2004まつやま」のPRも兼ねて、「まなびピア愛媛2004」の体験コーナーに参加した時は、搬入のための駐車場を確保してくれたが、「日本女性会議2004まつやま」で県民文化会館を使用した時は、予算がなかったため、駐車場を借りてもらえなかった。県民総合文化祭など県の行事の時はいろいろと配慮してくれている。全国大会に参加する時は、愛媛県民の顔となるように努力しているので、県民文化会館の駐車場使用料について配慮してほしい。

(知事)

お気持ちはよく理解できる。県民文化会館は独立採算であるが、県が運営のための費用を補助している。駐車場料金も会館の数少ない収入の一つである。県の行事の時に県が駐車場料金を払えば、その相当額を補助金から減額することになり、県としては、差し引きゼロである。

県以外の行事の時に駐車料金を減免して、県民文化会館の収入が落ちれば、県がその分余計に補助金を出すことになる。県財政が豊かであれば、無料であるほうがいいのだが、ご理解をいただきたい。

高齢者介護への支援

来年からグループホームのユニット制限の規制が厳しくなるとか、小規模施設の整備を国が打ち出しているとの話を聞いている。また、介護保険でも、要支援とか介護度1、2の人は介護保険が受けられなくなり、厳しくなるようだ。

地域のお年寄りには地域が支えていこうと、公民館に週一回お年寄りが集まるような事業を砥部町内全体で計画している。要支援とか介護度1、2の人が、介護度3になってはじめて特別養護老人ホームに入るような制度ではなく、地域で支えていく基盤の整備が必要である。

県が単独でも、週一回ストレッチ体操、血圧測定とかを実施して、地域のお年寄りには地域が支えていくような楽しい地域づくりを支援してほしい。

(知事)

いい意見である。介護保険制度、介護給付費の対象になる事業とそうでなく実費を参加者が弁償する事業となると、どうしても自己負担が少ない介護給付費の方に流れる。介護保険制度で介護給付を受けるためには、施設の基準があるので、その線引きが難しくなる。

介護事務の事業主体は市町村であるが、県は昨年から「高齢者やすらぎの場整備支援事業」を実施している。空き家になっている民家の改修等に助成するもので、事業費200万円以内で、1割を自己負担で残りを県、市町村が負担している。高齢者だけでなく、障害者も対象に拡げていく。施設の修繕費用であるので、人件費とか運営費は補助対象にならない。

まなびピアの運営方法

「まなびピア愛媛2004」にボランティアとして参加したが、担当職員がもたもたしていた。伊予郡での反省会においても同様の意見がたくさんあったので報告する。

(知事)

申し訳なかった。職員の資質、能力、経験の問題もある。全部の職員がそうではない。配置された職員がたまたまそれに向かなかったと思う。

学校給食への地産地消の導入

農業に従事している。地産地消のため、学校給食に地元作物を供給したいが、大量生産で一括納入できなければ難しい。一、二種類でもいいから学校給食に納入して、子どもたちに地元の作物を理解させたい。個人農家では難しいので、県が農協に呼びかけてほしい。

(知事)

学校給食は、学校栄養士が献立を決め計画的に発注するので、大量に供給できるほうがやりやすい。地産地消が理想的に近いのは今治市で、ほとんどが地元の材料を使って学校給食を行っている。給食で使いたい時期にちゃんと納入できるのが大事である。大量出荷に計画的に対応できないと大規模な学校での地産地消は難しい。

小規模学校は、融通が利くので、学校側の取り組み次第であると思う。

県は、市町村に対し、地産地消の推進を指導している。地域の人たちで今治市の調理場施設を見学すればいいと思う。

若い保護者への食の指導

今の小学生は、朝食にご飯を食べていない。保護者に食についての指導をしてほしい。

(知事)

国も知育・徳育・体育に食育を加えて、食の指導を重視している。学校単位で保護者への朝食の指導が行われ、バランスの取れた栄養のある食事になるように指導されると期待している。

農業関係会議への女性の参加促進

しきび生産農家の会に参加しているが、ほとんどが男性である。女性にもっと参加してほしい。

(知事)

県の委員会・審議会委員の女性登用を行っているが、農業関係はあまり女性が参加していない。意思形成に女性が多く参画しなければ、バランスの取れた社会にならない。県は女性重視を進めている。

民間住宅への県産材使用の促進

県の補助で県産杉材を使ったモデル住宅を建築士会の女性委員会で実施した。来場者のアンケートによると木造住宅を建築したい人が大多数である。県産材を使った家は評判がいいが、コストが掛かる。近くの久万材よりも外材のほうが安い。供給側も余った木を出したいし、愛媛の木を使った家への興味も高いなど需要もある。コストが高つくことをどう思うか。

(知事)

県は、平成13年を森林そ生元年として、洪水、土砂災害防止の視点から、強力に間伐をしている。出てきた間伐材をを活用するため、県、市町村の公共建築のうち、2階建て以下は木造で建築している。市町村には、県産材を使うと高いので、差額を県が補助している。県産材を使用した民間住宅には補助はできないが、奨励のためローンの金利1%分を県が利子補給している。

農業塾での専門分野の指導

農業の担い手、後継者問題、耕作放棄地の増加と今後の対策が迫られている。後継者問題については、県が月一回農業塾を開催しているが、基礎的な勉強である。農業試験場、果樹試験場、花き総合指導センターなどの立派な施設と人材がいるので、農業塾で、もう少し専門的な指導をしてほしい。

(知事)

農業後継者養成には力を入れている。いろいろなプログラムがある。

(産業経済部長)

農業試験場、花き総合指導センター、果樹試験場などの試験研究機関で研究した職員が、普及センターで農家を営農指導している。普及センターに連絡してほしい。

新規就農者に認定されれば、農業大学校での研修費用とか就農のための土地・資材購入の補助制度がある。認定農業者への補助制度もある。

凍結された農業関係補助金の早期解除

えひめ中央農協では、光センサー選果機不正問題で国の補助金が凍結されている。農業活性化のため早期に解除をお願いしたい。

(知事)

光センサーでの補助金凍結は、補助金返還の指令を受けて、手続きをとっている。返還できればペナルティはなくなり、新しい態勢がしっかりしていると認められれば、解除される見通しである。

砥部町内の老人クラブ活動の報告

砥部町内の老人クラブでは、会員が集めた古新聞と空き缶を売って、それを資金に弁当を作り、月一度独居老人に届けている。独居老人は非常に楽しみにしてくれている。

また、県立医療技術大学の学生と一緒に老人クラブの会員が独居老人を訪問し、健康をチェックしアドバイスを行っている。地域に開かれた大学であり、大変ありがたい。

(知事)

すばらしい事例を紹介いただき、ありがとうございます。愛媛県老人クラブ連合会の会長は100歳で、愛媛県の老人クラブは全国に冠たる組織である。

ハワイでは、学校給食施設を活用して独居老人に3食給食している。税金で建てた施設であるから、子どもだけでなく、老人も対象にしている。子どもと老人が食堂で一緒に給食を食べている。コミュニティ意識が強いと感じた。

食の安心確保のための食品衛生協会の活動

伊予地区の食品衛生協会に所属し、食品衛生指導員と食品衛生推進員をしている。食の安全緊急サポートシステムによる回収命令が出た場合、砥部町内はパルティとAコープに貼り周知している。食中毒注意報も大きな店舗に連絡している。

また、伊予地区では毎年、食品営業者を全部集めて講習会の実施とか、婦人会の協力を得て食品衛生監視をしている。

東温市の食品衛生協会は松山地区に所属している。東温市の食の安全緊急サポートシステムは機能していないように見えるので、東温市は大きな松山地区と一緒に活動するよりは、伊予地区と一緒に活動したほうが良いと思う。

(保健部長)

伊予地区食品衛生協会は、県下でも飛び抜けた活動をしている。地域に根ざした活動ができているし、指導員活動にも努力されている。松山地区食品衛生協会の管轄については、松山市と北条市、中島町との合併もあり、現在協議している。

東温市の食品衛生推進員もきちんと行動されているが、今後も、東温市を指導していきたい。

松山地区の在り方については検討しているので、時間をいただきたい。

花き総合指導センターへのお礼

上林地区の高齢者農家の主要作物は菊である。花き総合指導センターが栽培しやすい品種を提供してくれ、高齢者でも栽培できるので、感謝している。今後ともよろしくお願いします。

(知事)

ありがとうございます。

砥部焼窯元周辺県道の整備

砥部町はアートの里とか砥部焼のまちとか言われているが、国道33号線から町内に入ると、案内表示があまりないので、なかなかそう感じない。

砥部焼伝統産業会館から窯元までの県道は、観光客の車、自転車、歩行者が多いが、県道の改修工事が中断している。

(知事)

窯元の案内表示がないので、特に車で行く時には探しにくい。県がすることではないが、窯元の案内表示があればいいと思う。

(建設部長)

県道大平・砥部線は、補償物件の問題、県窯業試験場が一部かかっているなど道路拡幅に支障が生じている。新しい計画を立てるのにもう少し時間がかかる。

伊予、砥部、広田地区では、国道379号線の整備に重点をおいている。

ボランティアコーディネーターの設置

愛ロード制度に応募した。みんなが苗・肥料を持ち寄って、やっと軌道にのってきた。

砥部町にボランティアの運営委員会があり所属していたが、砥部町にはボランティアコーディネーターがない。ボランティアコーディネーターが先導してくれたら活動が活性化すると思う。

(知事)

ボランティアコーディネーターの配置を全市町村にお願いしている。

(秘書広報局長)

平成16年11月19日の全市町村の相談窓口開設に併せて、全市町村にボランティアコーディネーターを設置するため、研修を行っている。

林業農家への対策

県産材が高いといわれるが、山を持っている者にとっては、税も負担になるし、山の手入れにもお金がかかる。木を切って出しても赤字である。山を持っている者には、将来に不安がある。

(知事)

県は、肱川・重信川・蒼社川流域の水源地域の強力な間伐に力を入れている。放置林対策も財団法人愛媛の森林(もり)基金が行う。

個人所有の山は、現実に切れば赤字になる。しかし、森の手入れをしていないと保水力が落ちる。今回の土石流、地すべり、がけ崩れも放置林が原因のところもあるので、大変気にしている。

計画的に進めているので、対象になっているかどうかを、県(地方局林業課)に相談してほしい。

赤字になるからといって放っておかないように、愛媛の森林はみんな資源だという共通認識を持ってほしい。

砥部方面へのモノレール等の構想

松山中心部から砥部方面にだけ電車がいない。休日には動物園、こどもの城への客で周辺道路が渋滞している。財政状況は厳しいが、モノレールなどの構想はあるのか。

(知事)

4年前にモノレールを検討した。モノレールは経費がかさむので、LRT(Light Rail Transit「次世代型路面電車システム」)も検討した。採算が取れないため民間ではできないし、県、松山市、砥部町が負担するには今の財政状況から難しい。

幻のプランとして、モノレール案とLRT案の資料はあるが、財政の面からお蔵入りとなっている。

公共工事の削減の見通し

公共工事の削減により大変厳しい状況である。県財政が厳しい折ではあるが、今後の見通しはどうか。

(知事)

国、県の借金の大きな原因は、国が、景気浮揚のため建設国債を発行し大量の公共工事を行い、県も県債を発行してきたことによる。国は公共事業を毎年3%カットしているが、県は財政状況が厳しく、県単独事業は大幅に減少している。これ以上地方財政が悪化すれば、あとは職員定数を削減して給料をカットするなど人件費を切り込むしかない。

公共工事の展望はなかなか拓けないが、道路は自動車取得税、重量税、ガソリン税等の道路特定財源があるので、国の道路関連予算はあまり減らないと思う。道路特定財源でない県の道路予算は削減せざるを得ない。

上海便就航の経済効果

上海便就航に胸を膨らませているが、上海直行便が愛媛県にもたらす経済効果はどうか。

(知事)

毎年、愛媛県から1万人が中国に渡航している。愛媛から中国に行く時、関西空港での乗り継ぎ便と直行便との運賃差額とそれに要する時間をお金に換算すると、年間5億7千万円の経済効果がある。

次は、今は大きく期待できないが、中国からの観光客である。人口のベースが14億人であるから今後期待できる。

あとは、修学旅行などにより日中交流が深まるなどの副次的な効果があると期待している。